




令和5年度 基本評価調書		所管部局	農政部	所管課	農政課、食品政策課、農産振興課、畜産振興課、技術普及課、農地調整課、競馬事業室		
施策名	農業生産の振興			施策コード	0606		
政策体系(中項目)	農林水産業の持続的な成長			政策体系コード	2(1)A		
関連重点戦略計画等	知事公約、北海道創生総合戦略、北海道強靱化計画、北海道Society5.0推進計画、ゼロカーボン北海道推進計画					事務事業数	96
特定分野別計画	第6期北海道農業・農村振興推進計画、第3期北海道競馬推進プラン						
SDGs				総合判定	順調		
予算額(千円)	R 5	75,976,337千円	R 4	67,241,960千円	R 3	15,485,183千円	

施策目標	我が国の食料自給率の向上に貢献して、我が国最大の食料供給地域としての役割を果たすよう、生産力と競争力を高める取組を総合的に推進していく。
現状と課題	<p>(食料等の安定生産体制の強化)</p> <p>食料需要の増大や国際情勢の変化などによって、食料安全保障への関心が高まり、本道が我が国最大の食料供給地域として果たす役割は大きくなっており、生産力と競争力を高めるための取組を推進していく必要がある。</p> <p>(ホッカイドウ競馬の安定的な継続)</p> <p>馬産地に立脚した地方競馬として、馬産地の持続的発展への寄与とともに、全国への競走馬の供給など、馬産地のセーフティネットとしての役割を果たしていることから、事業を安定的に継続していく必要がある。</p>
前年度二次評価意見	
対応状況	

〈主な取組〉

今年度の取組	<p>(食料等の安定生産体制の強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者のニーズがあり輸入依存度の高い小麦や大豆といった品目は、道産への置換えが進むよう、安定生産や需要の拡大に向けた取組を推進し、需給が緩和している米、生乳、砂糖などの品目は関係団体や企業と連携した消費の拡大に向けた取組を推進 ・自給飼料基盤に立脚した安全・安心で良質な生乳の生産やゲノミック評価技術を活用した効率的な乳牛改良の推進、北海道和牛の競争力強化とブランド化の確立、草地の植生改善や飼料生産組織の育成など自給飼料生産基盤の強化、家畜衛生対策の推進 ・スマート農業技術の着実な普及拡大に向けた、技術情報の発信や人材の育成、市町村段階での取組体制の構築促進や導入への支援を実施 ・適正な農地利用の推進と優良な農地の確保 <p>(ホッカイドウ競馬の安定的な継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きゅう舎等の競馬場の基幹施設の整備、重賞競走体系の見直し、本賞金の引上げや手当の新設、インターネット広報の充実による情報発信の強化
実績と成果	<p>(食料等の安定生産体制の強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道米食率向上戦略会議において北海道米プロモーションを実施し、令和4年米穀年度の道内食率は90%（11年連続で目標85%以上維持）、首都圏でのプロモーション活動など、てん菜糖の消費拡大を図るための取組を実施、小麦や大豆の生産性向上を図る取組を推進 ・優良品種の認定、種子計画の策定、原種ほ及び原原種ほの設置等を実施 ・菓子用として新たな需要拡大が期待される秋まき小麦を題材に、製菓学校の学生に学ぶ機会を提供し、道産小麦に対する理解醸成に取り組んだ。（7月） ・北海道自給飼料生産優良事例発表会等の開催や市町村自営防疫組合等への指導、家畜衛生に係る検討会等開催のほか、北海道和牛の競争力強化とブランドの確立に向け、和牛改良組合等が行うトップエリート牛群づくりの取組への支援を行った。 ・スマート農業技術の着実な普及拡大を図るため技術情報の発信や人材の育成等を実施 （ICT農作業機実践研修等の人材育成 R4:6回、R5:2回 メルマガ発信 R4:24回、R5:11回） <p>(ホッカイドウ競馬の安定的な継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある番組づくりのため本賞金や手当の引き上げによる出走頭数の確保、インターネット広報の充実による情報発信の強化
参考HP①	
参考HP②	
参考HP③	

〈指標分析〉 ⇒ 成果指標は、原則、取組項目ごとに1つ以上、全体で5つ以下とする

指標名①	増加	%	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
食料自給率(カロリーベース)	目標値		202	208	214	238	104.2%	A
	実績値		216	217	223			

設定理由

北海道の食料消費が、道内の食料生産によってどのくらい賄われているかを測る指標で、我が国最大の食料供給地域としての役割を果たすための取組の成果を測る指標として設定。

指標公表時期

前々年度分を毎年算定、8月頃公表

出典(根拠計画等)

農林水産省「都道府県別食料自給率」

分析(主な取組と成果)

令和3年度はがおおむね天候に恵まれ、主要な農産物において収穫量が増加したことにより、前年度対比6ポイント増となった。農地等の農業資源や農業技術を最大限活用して収量の向上を図るなど、持続可能で生産性の高い農業を展開するため、農業生産基盤の整備や優良農地の確保など生産基盤等を強化した。

指標名②	増加	億円	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
農業産出額(暦年)	目標値		11,675	11,675	11,675	11,675以上	112.3%	A
	実績値		12,558	12,667	13,108			

設定理由

全道で生産される米麦等の耕種及び生乳や肉用牛等の畜産による産出額で、地域の基幹産業として成長する姿を示しており、生産力と競争力を高める取組の成果を測る指標として設定。

指標公表時期

前々年分の確報を3月頃公表

出典(根拠計画等)

農林水産省「生産農業所得統計」

分析(主な取組と成果)

新型コロナウイルス感染症の影響による家庭内需要の増加等により、いも類、雑穀、鶏卵等において物価が上昇したほか、小麦、大豆などの生産量が増加したことなどにより、前年に比べ441億円の増となった。また、ICT技術の活用などによる生産性の向上や省力化、水田のフル活用、耕畜連携、適正な輪作体系の維持・確立などを基本に、生産体制の強化に向けた取組を推進した。

指標名③	維持	円	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
競馬事業の収支	目標値		黒字	黒字	黒字	黒字	100.0%	A
	実績値		14.3億円	31.1億円	36.6億円			

設定理由

単年度収支は経営状況を測る指標であり、競馬事業の持続的な発展に資する取組の成果を測る指標として設定。

指標公表時期

毎年11月頃公表

出典(根拠計画等)

第3期北海道競馬推進プラン

分析(主な取組と成果)

準重賞競走の新設など強い馬づくりと魅力ある番組づくりに努めるとともに、コロナ禍で在宅時間が増加しインターネット発売が拡大したことから、ウェブサイトでの情報発信を強化したことなどにより、発売額の増加につながったと考えられる。

指標名④			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
	目標値						-	-
	実績値							

設定理由

指標公表時期

出典(根拠計画等)

分析(主な取組と成果)

指標名⑤			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
	目標値						-	-
	実績値							

設定理由

指標公表時期

出典(根拠計画等)

分析(主な取組と成果)

〈取組分析（連携状況、緊急性・優先性）〉

連携状況	(課題) 人口減少等により今後も米消費減少が見込まれる中、北海道米の道内食率を維持するとともに、中食・外食等の業務需要を掘り下げ、更なる消費拡大を図る必要がある。
	(取組) 農業関係団体や包括連携協定を締結している企業(10社)とも連携し、北海道米プロモーションを通年実施し、北海道米の消費拡大に向けて効果的なPRをすることができた。
緊急性 優先性	(課題) 世界的な人口増加による食糧需要の増大、ウクライナ情勢に端を発した国際情勢の変化などにより、エネルギーや原材料の価格が高騰し、食料の安定供給へのリスクが顕在化するなど、食料安全保障に対する関心が高まりをみせており、我が国最大の食料供給地域である北海道の役割と責任はますます大きくなっているが、本道農業は、生産資材の価格高騰や、てん菜や生乳などの需給緩和などにより大変厳しい状況が続いている。
	(取組) 国に対し、農業者が再生産可能な所得が確保できる価格形成の仕組みを進めるとともに、価格転嫁による負担について国民の理解醸成を進めるなど、食料安全保障の強化に向けた構造的な課題への対応、施設整備支援に必要な予算の確保、道産農産物の需要拡大、原油・飼料・肥料価格の高騰による影響への支援などを要望。(直近はR5.年6月)

〈取組分析（その他の統計数値等）〉

□ 成果指標で課題への対応を説明済

統計数値等①	過年度①	過年度②	最新年度
小麦の平均収量 (kg/10a)	460 (H30)	489 (R3)	516 (R4)
分析等			
(課題) 輸入に大きく依存している小麦の国産への転換が求められる中、10アール当たりの収量は、長期的には増加しているものの、年次変動が大きい状況にあり、近年、伸び悩んでいる。 ※10アール当たりの収量：実際に収穫された10アール当たりの収穫量 ※平均収量：1作物の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移、被害の発生状況等を平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合い、作付変動等を考慮して、実収量のすう勢をもとに作成したその年に予想される10アール当たりの収量			a
(分析等) 令和4年産は登熟期の日照不足等の影響を受けたことや、大雨・強風による倒伏の発生等により10アール当たりの収量が470kgと前年産を下回る結果となったが、令和3年産が天候に恵まれ生育が順調で登熟もおおむね良好であったこと等により、平均収量は前年度を上回った。			
統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度
経産牛1頭当たり乳量 (kg)	8,943 (R2)	9,066 (R3)	8,972 (R4)
分析等			
(課題) 飼料の高騰など酪農情勢は厳しく、生産性向上を図るためには、乳牛改良が不可欠。			b
(分析等) 新型コロナウイルス感染症の影響による需要減のため、減産せざるを得ない状況となっている。			
統計数値等③	過年度①	過年度②	最新年度
GNSSガイダンスシステムの累計導入台数 (台)	18,350 (R2)	20,710 (R3)	23,200 (R4)
分析等			
(課題) 道内では、大規模経営を中心に平成20年頃から全国に先駆けてGNSSガイダンスシステム等を搭載したトラクター等の導入が年々増えているが、技術開発は日々進められていることから、地域の状況に応じたスマート農業技術の選択や農業者個々の営農状況に応じた効果的な導入方法の検討などが必要。			a
(分析等) 大規模農業地帯の北海道で、府県に先行しGNSSガイダンスシステムが導入され、累計で全国において高いシェアを維持しており、地域の状況に応じた効果的な導入が進められているものと考えられる。			

〈総合判定〉

指標判定	A	連携状況	○	総合判定	順調
		緊急性・優先性	○		
		その他の統計数値等	a		

※ 成果指標の指標判定が「D」の指標

(-)

翌年度に向けた 対応方針	対応方針番号	内容
	①	農家戸数の減少や国際化の進展などに加え、原油・肥料・飼料価格の高騰などにより経営環境が厳しい中であって、引き続き本道が食料供給地域としての役割を果たすよう、基本技術の徹底による生産性の向上や省力化、新たな品種や栽培技術の普及など、各作物の生産体制の強化に向けた取組を推進。特に厳しい状況にある酪農については、需要拡大も含め、経営体質強化につながる取組を推進していく。
	②	
	③	

〈二次政策評価〉

二次政策評価	
--------	--

令和5年度 事務事業評価調書				施策名	農業生産の振興	施策コード	0606
----------------	--	--	--	-----	---------	-------	------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの 繰越事業費 (千円)	事業費 (千円)	執行体制			フル コスト (千円)	一次政策評価		二次政策評価意見	
								うち 一般財源	本庁	出先機関		人工計	対応 方針 番号		方向性
0119		一般	EPA交渉・WTO農業交渉等バックアップ事業費	・EPA交渉・WTO交渉に関する道民・国民の合意形成や理解の浸透を図るため、交渉に関する啓発活動の実施	農政課		493	493	2.6	0.0	2.6	20,877	①	改善(取組分析)	
0120		一般	北海道農業・農村確立連絡会議等	・連絡会議の開催及び国等に対する提案活動の実施	農政課				1.3	0.0	1.3	10,192			
0121		一般	第6期農業・農村振興推進計画検討策定費	・北海道農業・農村振興条例に基づき、第6期北海道農業・農村振興推進計画を推進	農政課				2.1	0.0	2.1	16,464			
0318		一般	道産小麦需要拡大促進事業費(需要拡大対策)	・北海道の小麦で初めてとなる菓子用品種「北見95号」の普及促進により、小麦商品の原料を道外・海外産小麦から安全・安心で良質な道産小麦への置き換えを図り、道産小麦の需要を拡大	食品政策課		1,589	1,589	0.5	0.0	0.5	5,509			
0401		一般	米流通対策指導事業費	・「米トレーサビリティ法」及び「食糧法」に基づき、米穀等の取引などに係る情報の記録及び産地情報の伝達並びに米穀出荷・販売事業者が遵守すべき事項の履行の適正化を図るため、米穀取扱業者等への立入検査や事業者への指導、普及啓発等を実施	農産振興課		713	713	1.0	0.8	1.8	14,825			
0402		一般	水田農業元気づくり推進事業費[団体補助金]	・地域水田農業の産地確立に向け、加工用米・備蓄米等の低コスト・安定生産や麦の生産性向上などの技術研修会の開催・情報提供を支援(補助事業)	農産振興課		857	857	2.0	0.0	2.0	16,537			
0403		一般	米どころ・酒どころ振興事業費	・道産日本酒の国内外での販売拡大に向けて、北海道らしい日本酒を造るための酒米の生産振興や、道産日本酒のブランド力強化に向けた取組を総合的に推進	農産振興課		12,117	12,117	1.0	0.0	1.0	19,957			
0404		一般	農産物検査指導監督等推進費	・農産物検査法に基づき、地域登録検査機関の登録事務や立入検査等の指導・監督を行い、農産物検査の適正かつ確実な実施を確保	農産振興課		1,582	1,582	2.2	0.0	2.2	18,830			
0405		一般	原種等生産事業費	・北海道主要農作物等の種子の生産に関する条例に基づき、本道の基幹的作物である主要農作物等の生産性及び品質の向上を図るため、優良種子の生産安定及び安定供給を推進	農産振興課		196,930	77,650	1.2	2.2	3.4	223,586			
0406		一般	原種等生産事業費[団体補助金]	・そばの原種ほ等の設置経費に対して補助	農産振興課		519	519	0.1	0.0	0.1	1,303			
0407		一般	農産物供給体制確立事業費	・道産農産物の競争力強化を図るため、産地における安全で安心な農産物の安定的な生産供給体制の確立を推進	農産振興課		617	617	2.1	3.0	5.1	40,601			
0408		一般	産地生産基盤パワーアップ事業費	・農業の国際競争力の強化を図るため、地域の営農戦略として定めた産地パワーアップ計画に基づき、地域が一丸となった産地の高収益化に向けた取組を総合的に支援	農産振興課	6,506,830	3,966,767	309	1.5	1.0	2.5	3,986,367			
0409		一般	豆類安定生産推進対策事業費	・道産豆類の品質を重視した生産技術の確立・推進、計画生産を推進	農産振興課		5,882		0.8	1.2	2.0	21,562			
0410		一般	畑作物生産改善対策費	・馬鈴しょ採種事業の健全な発展及び道内の馬鈴しょ栽培の安定を図るため、種馬鈴しょ生産者及び集荷販売業者の登録など、北海道種馬鈴しょ生産販売取締条例で定める事務を実施	農産振興課		71		0.2	0.1	0.3	2,423			
0411		一般	輪作体系維持・確立対策事業費	・基幹的な輪作作物であるてん菜と馬鈴しょの作付面積が減少し輪作体系の崩れがみられることから、本道畑作農業における輪作体系の維持・確立を図るため、当該作付の安定化を推進	農産振興課		577	577	1.4	0.8	2.2	17,825			
0413		一般	野菜価格安定資金造成事業費補助金	・主要野菜の安定供給を図ることを目的とし、野菜価格が著しく低落した場合の生産者に対する補給金交付のため、生産者、国、道の負担により資金造成を実施	農産振興課		11,275	11,275	1.3	0.0	1.3	21,467			【事務事業のコスト】 国に対し、地方負担が生じないよう、国負担のみで実施可能な制度とするよう強く要望すること。

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの 繰越事業費 (千円)	事業費 (千円)	執行体制			フル コスト (千円)	一次政策評価		二次政策評価意見	
								うち 一般財源	本庁	出先機関		人工計	対応 方針 番号		方向性
0414		一般	多様な野菜産地づくり促進対策事業費	・北海道野菜に対する多様な消費者・実需者ニーズに対応するため、加工・業務用野菜の生産拡大や、新規野菜・特産野菜の産地化推進、野菜の衛生管理対策に取り組むことで、国内トップランナーである北海道野菜のブランド向上と生産を確保	農産振興課		1,173	1,173	1.0	0.4	1.4	12,149			
0415		一般	水田農業高収益作物導入推進事業費	・実需者ニーズに対応した園芸作物の生産拡大を実現するため、水田地帯における新たな園芸産地の育成を図り、実需者等の関係者と連携して取り組む園芸産地づくりを支援	農産振興課		11,500		0.2	0.1	0.3	13,852			
0416		一般	次世代施設園芸普及促進事業費	・生産性の高い高度な施設園芸の一大産地化を目指すため、次世代施設園芸北海道拠点において得られた知見等を活用し、生産者への普及啓発活動を展開	農産振興課		20,656		0.5	0.3	0.8	26,928			
0419		一般	道産果樹ブランド力強化総合推進事業費(道推進事務費)	・道産果樹のブランド力の向上、果樹振興を図るため、果樹の高品質安定生産や消費拡大の対応に加え、省力・低コスト栽培技術の導入や機能性を有する小果樹など新たなニーズ等への対応も推進	農産振興課		356	356	0.4	0.1	0.5	4,276			
0420		一般	道産果樹ブランド力強化総合推進事業費(補助金)	・道産果樹のブランド力の向上、果樹振興を図るため、果樹の高品質安定生産や消費拡大の対応に加え、省力・低コスト栽培技術の導入や機能性を有する小果樹など新たなニーズ等への対応も推進	農産振興課		632	632	0.2	0.0	0.2	2,200			
0422		事務	課内総括事務	・職員の服務・研修、道議会事務、予算・決算等課内の庶務に関する事務全般及び農産経営の企画調整に関する事務	農産振興課				2.5	1.5	4.0	31,360			
0423		事務	農産物の生産振興対策に関する事務	・畑作物・米・園芸作物の生産振興及び流通等に関する事務	農産振興課				4.0	11.0	15.0	117,600			
0424		一般	ごはん食拡大・米産地づくり推進事業費	・人口減少等による米消費の減少が見込まれる中、北海道米の道内食率を維持し、業務需要の掘り下げ等による更なる消費拡大運動を展開するとともに、農家戸数が減少する中での生産力維持に向け、直播向け品種の導入や省力化技術等を推進	農産振興課		3,254	3,254	2.4	1.0	3.4	29,910			
0425		一般	道産小麦需要拡大促進事業費(生産対策)	・北海道初、菓子用品種「北見95号」の普及促進により、道産小麦への置き換えを図るための生産対策や需要拡大対策を推進	農産振興課		358	358	0.8	0.8	1.6	12,902			
0426		一般	麦・大豆生産技術向上事業費	・「麦・大豆国産化プラン」に基づき計画的に行う団地化の推進、営農技術の新規導入など、生産性の向上を図る取組を支援	農産振興課	2,440	4,922,782		1.2	1.2	2.4	4,941,598	①	改善(取組分析)	
0427		一般	園芸産地における事業継続強化対策事業費	・自然災害に強い園芸産地を形成するため、非常時の対応能力向上に向けた事業維持計画(BCP)の策定や実行に必要な整備・取組を支援	農産振興課		10,412		0.2	0.1	0.3	12,764			
0756		一般	強い農業づくり事業費	・土地利用型作物等の産地収益力の強化及び施設再編による産地合理化の促進に必要な施設整備等を支援するとともに、事業実施前における助言・指導及び実施後における事業評価等に基づく改善指導を実施	農産振興課	1,100,000	1,971,349	2,483	2.0	2.0	4.0	2,002,709			
0429		一般	水田作物需要創出・拡大整備支援事業	・本道水田農業の活性化に向け、産地と実需者が連携し、輸出等の需要に応じた加工品の生産体制の強化や国産原材料への切り替えのために必要となる取組を支援	農産振興課				0.0	0.0	0.0	0			
0430		一般	持続的畑作生産体系確立緊急支援事業費	・畑作産地において、病害虫の発生リスクの低減や需要のある作物への転換、労働力不足等の課題に対応するため、病害抑制と需要に応じた生産拡大の両立、労働負担軽減、環境に配慮した生産体系の確立、種馬鈴しょの安定供給の取組を支援	農産振興課	14,650	2,444,000		0.9	1.2	2.1	2,460,464			
0431		一般	ICT活用種馬鈴しょ生産実証事業費	・種馬鈴しょ生産における病株抜き取り作業の負担軽減を図るため、ICTを活用した生産技術の実証に取り組む	農産振興課		17,530		0.2	0.1	0.3	19,882			
0432		一般	道産新顔作物振興事業費	・近年、道内で栽培が拡大し、今後新たな戦略作物の可能性のある北海道の「新顔作物」の生産振興を図るため、産地の取組にスポットライトを当て、需要拡大と取組産地の拡大を一体的に推進	農産振興課				0.0	0.0	0.0	0			

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの 繰越事業費 (千円)	事業費 (千円)	執行体制			フル コスト (千円)	一次政策評価		二次政策評価意見	
								うち 一般財源	本庁	出先機関		人工計	対応 方針 番号		方向性
0433		一般	大規模契約栽培産地育成強化事業費	・実需者からの国産野菜の安定調達ニーズに対応するため、加工・業務用向けの契約栽培に必要な生産・流通体系の構築、作柄安定技術の導入等を支援する事業(北海道農産基金協会)に係る事務を受託	農産振興課		770		0.6	0.1	0.7	6,258			
0434		一般	ジャパンフラワー強化プロジェクト推進受託事業費	・北海道花き振興協議会が実施する事業の円滑な推進を図るため、一部取組を同協議会から北海道が受託	農産振興課		250		0.6	0.1	0.7	5,738			
0435		一般	ワイン用ぶどう生産力向上推進事業費(創生交付金)	・地理的表示制度(GI)の「北海道」指定などにより需要拡大が見込まれるワイン用ぶどうについて、関係機関と連携しせん定技術の講習会を実施、単収増加による生産力向上を推進	農産振興課		1,985	1,096	0.6	0.0	0.6	6,689			
0436		一般	経営所得安定対策等推進事業費	・農業経営の安定と国内生産力の確保を図るため、経営所得安定対策等の推進に必要な活動を行うとともに、市町村など地域段階の事業実施主体が行う普及推進活動や要件確認等に必要な経費を助成	農産振興課		533,846		0.6	1.8	2.4	552,662			
0437		一般	米粉利用拡大推進事業費	・新たな用途に使用でき、輸入小麦からの原料代替が期待されている米粉の利用拡大に向け、消費者や実需者に向けたPRイベントを開催	農産振興課		4,500	0	0.3	0.1	0.4	7,624			
0501		一般	畜産振興総合対策推進指導事業費	・生産加工技術講習会の開催や、鶏卵・肉鶏生産出荷調整の指導助言	畜産振興課		99	99	0.5	0.0	0.5	4,019			
0503		一般	飼料対策事業費	・飼料製造販売者や畜産農家等に対する立入検査・指導事務	畜産振興課		376	376	0.7	2.4	3.1	24,680			
0504		一般	生乳乳製品流通対策推進指導事業費	・生乳生産に係る生産者団体と乳業者との意見調整や生乳の計画生産と適切な生乳取引に係る取組に対して助成	畜産振興課		626	626	1.0	0.0	1.0	8,466			
0505		一般	畜産環境保全推進対策事業費	・家畜排せつ物の適正管理と有効利用の指導助言	畜産振興課		157	157	1.2	3.5	4.7	37,005			
0506		一般	監視・危機管理体制整備対策事業費	・家畜の混合感染症等による損耗に対する原因究明・衛生指導による生産性向上対策 ・家畜伝染病まん延防止のための防疫演習及び家畜衛生関連情報の収集・共有	畜産振興課		1,192	597	0.4	9.8	10.2	81,160			
0507		一般	地域衛生管理体制整備事業費補助金	・家畜伝染性疾患の発生予防やまん延防止のための地域衛生管理体制整備に対する補助金	畜産振興課		46,988		0.2	0.1	0.3	49,340			
0509		一般	農場リース円滑化事業費	・補助整備事業の補助残に公社の内部資金を充当する際の運用金利相当分を助成	畜産振興課		196	196	0.5	0.2	0.7	5,684			
0510		一般	養蜂指導費	・蜜蜂の適正な入地調整を行い、蜂蜜及び蜜ろうの増産等を推進	畜産振興課		1,931		0.9	1.4	2.3	19,963			
0511		一般	酪農畜産行政推進費	・酪農・畜産の振興・安定的発展のための諸事務に要する経費 地全協関係申請事務、酪肉近計画推進指導事務に関する事務、畜産業振興事業、加工原料乳数量認定、生乳数量の確認、乳業工場立入検査、軽種馬資金事務、リース事業現地指導、家畜商講習会、家畜商、家畜市場に関する事務、家畜人工授精師、授精所、種畜検査に関する事務	畜産振興課		25,210		3.9	5.8	9.7	101,258			
0512		義務費	家畜伝染病予防費[義務]	・伝染病予防のための病性鑑定業務	畜産振興課		2,616,424	443,118	2.0	58.3	60.3	3,089,176			
0513		一般	家畜衛生指導推進費	・家畜自衛防疫組織の育成強化や動物用医薬品等の適正な監督指導事務	畜産振興課		2,881		0.8	9.5	10.3	83,633			
0514		義務費	家畜衛生指導推進費[義務]	・家畜伝染病予防法に基づく検査・注射手数料の徴収を行う市町村に対する事務取扱委託費	畜産振興課		6,709	6,709	0.1	1.5	1.6	19,253			

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの 繰越事業費 (千円)	事業費 (千円)	執行体制			フル コスト (千円)	一次政策評価		二次政策評価意見	
								うち 一般財源	本庁	出先機関		人工計	対応 方針 番号		方向性
0515		一般	牛海綿状脳症病性鑑定費	・牛海綿状脳症(BSE)に係る24ヶ月齢以上の死亡牛の全頭検査を実施	畜産振興課		217,111	38,276	0.8	17.6	18.4	361,367			
0516		一般	運営費(家畜保健衛生所)	・家畜保健衛生所の運営、施設維持等に関する事務	畜産振興課		50,741		0.4	8.4	8.8	119,733			
0517		一般	施設設備整備費(家畜保健衛生所)	・家畜保健衛生所の施設整備等に関する事務	畜産振興課		13,336	10,436	0.3	5.8	6.1	61,160			
0518		維持費	家畜保健衛生所維持運営費[維持]	・家畜保健衛生所の維持・運営に要する経費(会計年度任用職員の雇用、光熱水費等)	畜産振興課		47,269	11,049	0.4	8.3	8.7	115,477			
0519		維持費	家畜保健衛生所維持運営費[維持]	・家畜保健衛生所の維持・運営に要する経費(会計年度任用職員の雇用、光熱水費等)	畜産振興課		4,710	4,710	0.2	4.2	4.4	39,206			
0520		義務費	ボイラー検査費(家畜保健衛生所) [義務]	・ボイラー等検査に要する経費(義務費)	畜産振興課		10	10	0.0	0.0	0.0	10			
0521		事務	畜産振興課総合調整等業務	・職員の服務・研修、議会事務、予算・決算等課内の庶務に関する事務全般及び畜産経営の企画調整に関する事務	畜産振興課				2.7	0.1	2.8	21,952			
0522		事務	酪農振興に関する事務	・家畜個体識別システム、畜産物価格及び関連対策等に関する事務	畜産振興課				1.9	2.4	4.3	33,712			
0523		事務	肉牛及び中小家畜に関する事務	・種畜・種鶏の譲渡申請等に関する事務	畜産振興課				2.1	1.3	3.4	26,656			
0524		事務	家畜ふん尿、飼料及び馬に関する事務	・家畜排せつ物法、飼料安全法、馬事振興等に関する事務	畜産振興課				1.5	3.8	5.3	41,552			
0525		事務	家畜衛生に関する事務	・家畜伝染病防疫、動物用医薬品の安全対策、獣医師法獣医療法等に関する事務	畜産振興課		2,881		1.1	17.0	18.1	144,785			
0526		一般	和牛繁殖基盤造成事業費	・道産和牛の競争力強化とブランドの確立に向けて、トップエリート牛群の早期造成を推進	畜産振興課		2,516	2,516	1.2	0.1	1.3	12,708			
0527		一般	和牛ブランド創出推進事業費	・道産の和牛肉の競争力強化とブランドの確立に向けて、道内統一ブランドの創出や北海道独自の特色ある種雄牛の作出に向けた取り組みを推進	畜産振興課		720	720	1.2	0.1	1.3	10,912			
0528		一般	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業費	・経営の効率化や収益性の向上による生産基盤の強化に必要な家畜飼養管理施設の整備等の支援	畜産振興課	1,003,527	1,706,605	608	2.3	5.9	8.2	1,770,893			
0529		一般	国際貿易協定に対応した道産牛肉生産強化・消費拡大事業費	・国内外から選ばれる道産牛肉づくりに向け、生産技術の向上とともに知名度やシェア拡大などの取組を実施することで、道産牛肉の生産・流通基盤を強化	畜産振興課		3,851	3,851	0.2	0.0	0.2	5,419			
0530		一般	めん羊生産振興事業費	・ニュージーランドの高度な使用管理技術を普及するとともに、種畜供給体制の強化を推進	畜産振興課		1,584	1,584	0.3	0.0	0.3	3,936			
0531		一般	酪農経営体質強化事業	・飼料生産改善事例調査・普及による飼料生産の強化や、省力化機械等の導入による労働負担軽減・生産性向上の効果分析、指標作成、酪農ヘルパー組合の優良事例調査・普及等による経営体質の強化の取組を行う。	畜産振興課		2,577	2,577	2.2	1.4	3.6	30,801	①	改善(取組分析)	
0532		一般	持続可能な酪農の就農サポート環境構築事業費	・災害対策マニュアルの映像化により、自然災害に対する新規就農者の意識向上を図るとともに、安心して酪農を続けられる環境を整備する。	畜産振興課		1,000		1.0	0.0	1.0	8,840			
0533		事務	畜舎特例法推進事業費	・畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律に基づく認定業務及び指導監督業務を行う。	畜産振興課		1,013		1.3	0.0	1.3	11,205			
0534		一般	配合飼料高騰対策緊急支援事業費	・配合飼料の年間契約数量に対し、積立金相当額の支援金を支給	畜産振興課		2,452,398	2,452,398	1.0	0.0	1.0	2,460,238			
0535		一般	酪農生産基盤確保対策事業費	・コスト削減等に取り組み国事業の対象となる酪農家に対し、自助努力で削減できない種付け料分を支援	畜産振興課		3,337,560	3,337,560	1.5	0.0	1.5	3,349,320			

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの 繰越事業費 (千円)	事業費 (千円)	執行体制			フル コスト (千円)	一次政策評価		二次政策評価意見	
								うち 一般財源	本庁	出先機関		人工計	対応 方針 番号		方向性
0536		一般	経営体質強化に向けた牛群改良加速 化事業費	・乳牛改良に資するゲノミック評価技術普及のため、モデル農家 を対象とした実証を行う事業	畜産振興課		38,238	38,238	1.5	0.0	1.5	49,998			
0601		一般	協同農業普及事業推進指導費	・農業改良助長法に基づき、普及指導員が行う巡回指導、地域 ニーズに対応した普及活動等に関する事務	技術普及課		29,056	24,307	4.8	5.0	9.8	105,888			
0602		維持費	専門技術員活動高度化事業費[維持]	・(地独)北海道立総合研究機構農業研究本部及び各農業試験 場に駐在する普及指導員の活動に必要な車両などの維持運営を 行う事務	技術普及課		10,346	8,263	0.5	0.0	0.5	14,266			
0603		維持費	農業情報システム推進事業費[維持]	・農業改良普及センター等における、全国ネットワークの活用や 電話やファックス等の通信料の管理に関する事務	技術普及課		14,013	11,784	0.0	0.7	0.7	19,407			
0604		義務費	研究連携課題解決支援事業費[義務]	・農業改良助長法に基づき、普及指導員が行う現地での普及指 導活動に必要な日額旅費を管理する事務	技術普及課		7,670	345	0.0	0.8	0.8	13,840			
0605		一般	農業改良普及センター管理費	・高度で効率的かつ効果的な普及活動を展開するために必要な 農業改良普及センターの機材等整備を行う事務	技術普及課		32,460	32,460	0.3	1.7	2.0	47,920			
0606		維持費	農業改良普及センター維持運営費	・農業改良普及センターを運営するための事務(会計年度任用職 員)	技術普及課		36,663	17,095	0.1	1.4	1.5	48,243			
0607		維持費	農業改良普及センター車両維持費	・農業改良普及センターの車両を維持・管理するための事務	技術普及課		83,279	48,931	0.1	1.9	2.0	98,959			
0608	0602	一般	スマート農業総合推進事業費	・スマート農業の推進に関する事務(スマート農業推進事業費、ス mart農業加速化実証プロジェクト)	技術普及課		12,329	4,848	1.0	0.1	1.1	20,937			
0609		一般	植物防疫推進事業費	・病害虫のまん延防止のため、病害虫の発生予察事業等を実施	技術普及課		28,037		0.2	0.7	0.9	34,999			
0610		一般	病害虫防除所運営費	・病害虫防除所の円滑で適正な運営のための事業を実施	技術普及課		3,633	889	0.2	0.4	0.6	8,282			
0611		一般	病害虫防除対策事業費	・移動規制病害虫の再発防止を継続的に監視を行う事業	技術普及課		430	215	0.2	0.5	0.7	5,855			
0612		維持費	病害虫防除所運営費[維持]	・庁舎等の維持管理	技術普及課		1,257	629	0.2	0.4	0.6	5,906			
0613		一般	ジャガイモシロシストセンチュウ緊急防 除対策事業費	・ジャガイモシロシストセンチュウの防除・まん延防止を図るため の総合的な対策を行う事務	技術普及課		875,983		4.5	1.1	5.6	919,746			
0614		一般	農業生産資材安全使用等総合推進事 業費	・農業・肥料の適正な流通及び使用の確保や農作業安全の啓発 指導、農業機械の効率的な利用	技術普及課		4,953	740	1.4	1.9	3.3	30,574			
0615		一般	ヘプタクロル残留対策事業費補助金	・農業団体によるヘプタクロルの残留分析に対する支援	技術普及課		6,548		0.3	0.4	0.7	11,981			
0616		事務	協同農業普及事業に関わる内部調整 事務	・普及活動に係る庁内、試験研究機関・農業団体等との調整事務	技術普及課				2.8	2.9	5.7	44,688			
0617		事務	試験研究に関わる内部調整事務	・試験研究に係る庁内、道総研及び関係機関・団体との調整事務	技術普及課				1.3	1.8	3.1	24,304			
0618		事務	技術普及課総合調整等業務	・課内の服務、研修、議会対応等の課内の庶務に関する事務全 般	技術普及課				3.6	0.0	3.6	28,224			
0619		事務	農業環境対策に係る内部調整事務	・農業環境対策に係る庁内、関係機関・団体との調整事務	技術普及課				0.3	0.0	0.3	2,352			
0620		事務	農業改良普及業務	・農業改良助長法に基づく農業改良普及業務(現地指導等)	技術普及課				0.0	540.5	540.5	4,237,520			

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの 繰越事業費 (千円)	事業費 (千円)	執行体制			フル コスト (千円)	一次政策評価		二次政策評価意見	
								うち 一般財源	本庁	出先機関		人工計	対応 方針 番号		方向性
0621		一般	農業改良普及センター車両整備費	・農業改良普及センターの車両を整備するための事務	技術普及課		10,811	10,811	0.1	0.0	0.1	11,595			
0622		投資的経費B	庁舎増改築費	・農業改良普及センター増改築	技術普及課		203,182	203,182	0.3	0.0	0.3	205,534			
0804		一般	農業委員会等活動促進助成費 [団体補助金]	農業委員会の支援業務を行う機関として「北海道農業委員会ネットワーク機構」の指定をしている北海道農業会議の業務に対する助成	農地調整課		36,298	20,017	1.0	0.0	1.0	44,138			
0805		一般	最適土地利用対策事業費	再生可能な荒廃農地を有効活用するための取組等に対する支援	農地調整課		20,475		1.0	0.5	1.5	32,235			
0806		一般	市町村地籍調査事業費	国土調査法に基づく地籍調査事業等に対する指導、助成	農地調整課	25,266	358,956	119,962	5.0	0.0	5.0	398,156			
0807		一般	国有農地等管理処分事業事務取扱費	・国有農地等の保安全管理、貸付け、売渡し及び売渡し等の対価債権の管理・保全、開拓財産の管理・保全等	農地調整課		340,250		7.0	16.9	23.9	527,626			
0808		事務	農地調整課総合調整等業務	・農振法等に基づく土地利用調整及び課内の庶務全般	農地調整課				2.5	5.3	7.8	61,152			
0201		一般	北海道地方競馬特別会計	・ホッカイドウ競馬の開催	競馬事業室		49,127,457		0.0	7.0	7.0	49,182,337			
0202		一般	競馬事業室総合調整等事務	・課内における管理・監督事務	競馬事業室				0.0	1.0	1.0	7,840			
計						8,652,713	75,976,337	6,978,539	116.5	792.6	909.1				